

平成28年度 事業報告書

平成28年度における事業の実施結果は、次のとおりです

第1 法人運営事業

1 組織運営会議

理事会・評議員会及び監事会

(1)平成28年第2回評議員会・理事会 5月26日

- ①評議員の選任について
- ②平成27年度事業報告、収支決算について

(2)平成28年第3回評議員会・第3回理事会 10月7日

- ①定款の一部変更について
- ②評議員選任・解任委員会細則について
- ③理事、評議員の選任について
- ④28年度資金収支補正予算について
- ⑤県福祉大会における決議要望事項、会長表彰予定者等について
- ⑥県身障大会の次期開催地について

(3)平成29年第1回評議員会・理事会 3月10日

- ①平成28年度収支補正予算について
- ②平成29年度事業計画、収支予算について
- ③会計規程の一部改正について

(4)監事会

平成28年5月23日、監事の加藤芳子氏、川淵新一郎氏、福村利信氏により、平成27年度の事業及び収支決算について、監査を受け、適正であったことが認められた。

2 身体障害者福祉活動の推進

(1)第61回日本身体障害者福祉大会への参加

5月12日に京都市で開催され、本県から27名が参加した。
(大会参加費2,000円は県身連で負担)
参加者は大会に参加したのち、京都市内を視察した。
(旅行参加経費33,000円は参加者負担)

(2)第44回日身連中部ブロック代表者会議並びに第20回日身連中部ブロック相談員研修会の参加

9月20日に岐阜県で開催された代表者会議には杉森会長、山崎事務局長が、また、10月11日、12日の相談員研修会には、会長を含め相談員7名と田中副会長、事務局2名が参加した。

(3)身体障害者地域活動の推進

各市町身体障害者福祉協会等における組織の運営と地域活動の推進を図るため、これらの事業を実施する各市町身体障害者福祉協会等並びに全加賀・全能登の地域連合体に助成した。
(20団体・350,000円)

(4)指導者研修会の促進

金沢、全加賀、全能登の3地区身体障害者団体連絡協議会等が実施する市町指導者研修会開催経費の一部を助成した。
(3団体・70,000円)

第2 社会参加推進センター運営事業

1 障害者社会参加推進センターの運営

障害の有無に関わらず、誰もが家庭や地域で明るく暮らせる社会づくりに向けて、地域における自立生活と社会参加推進のための各種社会参加促進施策を実施するために、各障害別団体代表、行政機関代表等からなる社会参加推進協議会を設置し、その協議を経て、各種の情報提供等の事業を実施した。事業を実施した。

2 機関誌「ほほえみ」の発行(年2回)

8月と1月の2回、各6,200部を発行した。
配布先は市町身障福祉協会や障害者を雇用している事業所、公民館等。

3 県障害者ふれあいフェスティバルの開催

9月25日に県・県社会福祉協議会・県身体障害者団体連合会・その他関係団体で組織した障害者ふれあいフェスティバル実行委員会の主催により、石川県産業展示館4号館で開催した。

4 各種要望活動の推進

11月28日に県身障者福祉大会において決議された要望事項について、杉森会長、上地副会長、杉本理事から坂上健康福祉部次長兼障害保健福祉課長に対し、要望した。

第3 県身障者福祉大会開催事業

県と当連合会との共催で、市町持ち回り開催による町での最初の開催として、11月6日に能登町内浦総合運動公園内浦体育館を会場として開催した。

地元の能登町身障協会が主管し、また能登町当局に共催、能登町社会福祉協議会にご後援をいただくなど地元の方々に絶大な協力をいただいた。

その結果、開催地協会から多数の会員が参加するなど、計450余名の参加があり盛大に開催された。

本大会では、自立更生、援護功労などで他の模範となる方々に対する県知事表彰(14名)、県身連会長表彰(20名)が行われ、その後、県等へ提出する要望事項を審議するとともに大会宣言を行い、今後の障害者福祉の向上についての努力を誓い合った。午後には、アトラクションとして地元で活動する方々によるフラダンスの披露や彌栄太鼓保存会による彌栄太鼓の実演が行われた。

第4 障害者温泉療養事業

六翠苑廃止後においても、障害者の温泉宿泊施設利用が円滑に行われるよう、県が平成15年度に障害者温泉療養事業制度を創設し、当連合会が事業を受託しているが、当該事業の指定宿泊施設は計25施設となっている。

また、指定宿泊施設への利用助成券相当額の精算事務については、県制度のほか、金沢市、小松市及び白山市から市単独事業について委託を受け、事業を実施した。

石川県分	2,298名(6,894,000円)
金沢市分	579名(579,000円)
小松市分	134名(134,000円)
白山市分	163人(163,000円)

第5 障害者ITサポートセンター運営事業

県身体障害者団体連合会を窓口として、肢体(上肢)、視覚、聴覚に障害がある方々のパソコン操作指導等の業務を実施し、障害者の情報収集、発信方法の確保と社会参加の推進を図った。

(1)サポートする相談員・ボランティアの委嘱

上肢関係40名、聴覚関係29名、視覚関係107名

(2)相談員・ボランティアの派遣

上肢関係5件(延べ5名)、聴覚関係5件(延べ16名)、視覚関係26件(延べ51名)

第6 障害者スポーツの普及、振興事業

身体障害者のスポーツ振興は、石川県障害者スポーツ協会の事業として実施した。

(身体障害者部門の開催経費については、県身連が負担)

1 県障害者スポーツ協会の業務として実施された事業

(1)第31回アカシアジョギング大会[7月31日(日)]

(2)1日スポーツ体験教室(卓球バレー、バグジー、吹き矢、フロッカー、カーリンコン)[8月29日(木)]

(3)第11回グラウンドゴルフ大会[9月15日(木)]

(4)第5回カローリング大会[11月19日(土)]

(5)第13回ボウリング大会[2月21日(火)・23日(木)]

(6)各種スポーツ団体・グループに対する選手育成強化のための助成

※(6)の事業は、身体障害者関係事業として共同募金助成対象となっており、県身連が同助成金を受け、事業実施主体であるスポーツ協会に事業負担金として支出した。

(7)市町身障協会などからの要望に対する相談協力(指導員派遣、運営協力など)

2 第16回石川県障害者スポーツ大会

5月29日(日)、県と県障害者スポーツ協会、県身体障害者団体連合会ほか関連団体の共催により、石川県西部緑地公園陸上競技場及びいしかわ総合スポーツセンター等において開催した。